

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第4回 理事予定者会議議事録

日 時：2014年 12月 18日（月）19：00～22：00

場 所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- （ 理 事 長 ） : 須山（敬称省略 以下同）
（ 直 前 理 事 長 ） : 村上
（ 第 4 7 代 理 事 長 ） : 福田
（ 副 理 事 長 ） : 澤畑、福田(之)、太城、中島
（ 専 務 理 事 ） : 金
（ 監 事 ） : 篠崎、安野
（ 担 当 常 任 理 事 ） : 羽石、飯野、鈴木
（日本 JC 委員会特別委員長） :
（ 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ） : 小瀧
（ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ） : 豊崎
（ 事 務 局 局 長 ） : 飯沼
（ 委 員 長 ） : 辻、渋江、篠原、増淵、宮林、福田（弘）、山田、
木村、飯塚
（ 局 次 長、副 委 員 長 ） : 間島、金田、柿沼、相田、吉田、八木、菊地、中嶋、
板林、南木、林
（ 準 理 事 会 構 成 員 ） : 齋藤、加賀田、亀井

1. 開会宣言 <金>（役職名省略 以下同）
2. JCI クリード唱和 <渋江>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <増淵>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <宮林>
5. 関東地区宣言唱和 <山田>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
議事録署名人
須山 裕史
篠崎 達彦

安野 嘉政

8. 前回議事録の確認 <金>
9. 議題並びに資料の確認 <飯沼>
10. 2015年度理事長挨拶 <須山>

まずは2015年度の予定者会議が2014年度中に行われることに対しまして、村上理事長の2014年度のお時間をお借りしながら会議を進めることに感謝申し上げながら始めさせていただきたいと思っております。また、会議の設営にあたりまして総務委員会の皆様、渉外委員会の皆様、早くから設営していただき感謝申し上げます。引き続きよろしく願います。みなさんにも緑色のネームプレートが配られており、真摯に挑戦もはいつてカッコいいと思っております。ただ、私少し思っているのですが、局次長というのはどうだろうと思っております。みなさんどうですか。対内的には局次長で通じることでも、対外的には少し伝わらないのではないかと思います。対外的には別なものを用意しても良いかもしれません。2014年度の話になりますが、昨日はさよなら例会が行われました。担当いただきました、太城議長本当にお疲れさまでした。わたしたちはこれから、2015年度残されたメンバーで、この理事会構成メンバーを中心となって引っ張っていかなければならないと思っております。昨日のさよなら例会、卒業式を終えて皆さんも心に感じるものがあることと思っております。今まで一緒にやってきた先輩、メンバーが卒業していくのを目の当たりにすると本当に私たちが中心となって牽引をしていかなければならないと感じました。そして同じように、来年の今時期には先輩方、ここにも卒業生になる方がいらっしゃると思いますが、送り出す準備をしなければならないと思っております。終わりと始まりは同時に来るものだと思いますので来年は今年を超えられるような素晴らしい設えができるように準備をしまいたいと思っております。セレモニーについてこの一か月変化があったと思っております。先月の予定者理事会におきましてはまだ、たどたどしい感じで、私と村上理事長から指摘をさせていただきまして、村上理事長からは、それで本当に真摯に挑戦なのだろうかということをお願いいただきました。先月は手帳を見ながらというところがありましたが、まだ、パソコンをちらっとみる感じの方は何人かいらっしゃいましたが、かなり自分の中で努力をされたのではないかと思います。ここまで努力をされた結果を踏まえて次のステップに移っていくことを考えてみるべきだと思います。たとえば、次はもっと大きな声でセレモニーをいければカッコいいなと思っております。セレモニーが大きな声で行われているLOMは元気がいい勢いがあるLOMだと思いますので、堂々と胸を張って行っていただければと思います。皆さん委員会をやってセレモニーをやると思いますが、やはりぼそぼそという感じでやっていると元気がない、オンとオフが切り替わらない委員会になってしまうと思っておりますので、次のステップは自信をもって堂々とやるということにチャレンジをしていただけたらと思います。理事会の場でこのようにお話をさせていただいておりますけれども、これには数かぎりがありますので毎回毎回当たり前のように話ができるのではないということを感じておまして、今回をいれて、13回しかないわけです。来年は月に一回、12回しかないので、毎回何を伝えるべきかと考えて臨んでいるのですが、事前配信についてお話をさせていただきたいと思っております。今三日前にこの理事会の事前配信がされていると思っております。この事前配信をダウンロードしてアジェンダを見たという方どれくらいいますか。では、その議案に対して、今回は増淵委員長がはじめて3月例会の議案、そして、全国大会、市長例会とありますがどなたからか、メールでも電話でもこうしたらいいのではないかなという意見がありましたか。

<増淵> ありませんでした。

山田委員長はどうでした。

<山田> 副委員長とラインでのやり取りはありました。

何で事前配信をしているかという、本来であれば、会に臨む前に確認してくるのはもちろんだと思います。あらかじめここはこうした方が良いのではないかとというアドバイスがあれば会の前に指摘できるのではないかと思います。ただ今、私が見ているかぎりでは三日前までに形式的に議案を作って流すというような感じになっていて、何のために事前配信をするのかと思ってしまいます。事前配信のための事前配線になってしまっただけにこだわってしまっているのではないかと思います。今日までの二日間、三日間の間に詰められる場所、みなさんからのご意見をいただける時間はあるのではないかなと思います。忙しいのは皆さん本当に一緒です。忙しい中頑張っている、何より担当委員会の皆さんが頑張っている、そんなところにも心を置いてほしいと思います。柿沼副委員長は今回の議案について何か意見はありますか。

<柿沼> 他の議案で質問のあるところをリストアップしております。

リストアップするだけで終わってしまうのはもったいないです。ここを聞くかもという話を担当委員長にできていいと思います。相田副委員長いかがですか。

<相田> 目を通しただけで他に何もできませんでした。

1月からは会議に臨む姿勢も高めてもらっていただけると良いと思います。是非とも事前配信の意義というものにも心を寄せていただければと思います。もう一点だけ触れさせていただきますけれども、会員拡大についてです。昨日2014年度の12月例会がございましたが、7名のビジターの方をご紹介いただきました。この会員拡大についても皆さんのやるべき事業計画の中に会員拡大、人材の発掘というものが入っていると思います。おそらく、小瀧特別委員長を中心に動き始めていただいているとは思いますが、一歩踏み出しているかどうかの再確認というのは必要だと思います。昨日の2014年度の12月例会に関しても、参加するだけではなく、拡大について誰かビジターを連れていければと親身になって考えていくような姿勢が必要だと思います。そして、小瀧特別委員長をはじめとして、林副委員長、南木副委員長、佐藤副委員長と連携を図ればよいと思います。常任理事会でも話をしたのですが、圧倒的に足りないものは何かという話で、コミュニケーションと行動であろうという話をさせていただきました。やはり、頭で考えていても進まないのだと思います。一歩踏み出す、行動に移すことをしないと結果はついてこないと思いますし、コミュニケーション、人間性の構築というものをしていかなないと会員拡大にはつながらないと思います。これから、2015年度を迎えてこちらの会員拡大特別委員会の方からみなさんにご連絡させていただくこともあるでしょうし、直接お話しさせていただくことがあると思います。是非ともみなさん他人事とせずに、会員拡大に関しては、理事構成メンバーそして宇都宮JC全員で進めていくということをもう一度再確認をして皆さんのラインに落とし込んでいただければと思います。担当のラインに落とし込めるのはみなさんであって、私が一人ひとり落とし込むというわけにはいきませんので、会員拡大についても心を寄せていってください。小瀧特別委員長におかれましては中心となってもっと周りを巻き込んでいただきたいと思います。そして、多くのメンバーを迎えてさよなら例会というものを構築していただきたいなと期待しております。本日は新しい議案が上がってきます。第1回全国大会招致会議もありますので、長丁場となります。本日も一日よろしくお祈りいたします。

11. 2014年度理事長挨拶

<村上>

まずは、昨日2014年度の最後の例会にこの2015年度のチームにもご協力いただきありがとうございました。また、本日も2015年度の理事会ということで二日続けてということでご苦労様でございます。さて、直前理事長の挨拶ということで鈴木常任理事、先ほど須山理事長が拡大についてキーワードをおっしゃりましたが何とおっしゃりましたか。

<鈴木> みんなで協力しながら頑張っていこう、一人ひとりが大切だと。

キーワードはですね、コミュニケーションと行動という話がありました。先日もいわせていただいたのですが、徐々にメモ率が高まっています。これはうれしいことなのですが、メモしていない人もいます。メモする気もない人もいます。君らはそんなに頭が良いのかと思うのです。これも先月いいましたが、須山理事長が先ほどセレモニーがよくなって進歩しているとおっしゃっていましたが、本当でしょうか。たぶん理事長は立場上、怒ることができないのでそのようにいったのでしょうか。全然いえません。自信がなくてもごもごしている人がいっぱいいました。真摯に挑戦するのでしょうか、君たちは。この一か月間真摯に挑戦できたと思う人手を挙げられますか。セレモニーを覚えていない人、何回練習しましたか。増淵委員長。

<増淵> あまり練習していません。

理事の重要性というものを受け止めてほしいのです。お預かりしている委員会のメンバーに対して恰好のいい委員長になってほしいと思います。みなさんも理事になる前、委員長になる前の時代があったはずです。入会したとき、入会して二年目委員会のメンバーだったとき委員長に何を期待していましたか。その委員長をカッコいいと感じましたか。たいしたことないなと思っていたかもしれません。でも、メンバーからしたら委員長は一人なのです。その人に憧れてJCをやっているのです。その委員長が責任をもっているいろいろな伝えなければなりません。一番伝えなくてはいけないことは須山理事長の発する言葉です。委員会では理事会報告をやらなければいけないのです。理事長が何を話させていたか、それが2015年度の運動の方針なのです。それを全員で共有できなかつたら、絶対に運動にならないです。ゴールを迎えられない。そのことを是非強く自覚してほしいと思います。セレモニーに関していえば、英語でいっていますけど、その意味をしっかりと頭に入れて、腹の中に落としてほしいと思います。昨日、私は総括のスピーチをさせていただきましたが、その内容はすべて、セレモニーの中に入っているのです。JC I クリッドだって英語でいっているのですがJCにとって必要なものめざすべきゴールというのは皆さん毎回いっているのです。英語ですけれども、それをしっかりと日本語で自分の言葉に置き換える、これでどのような意味になるのかということをしかりと理解していただいてメンバーに伝えていく義務があるのではないかと思います。そして、身だしなみ、ネクタイが緩んでいるかたがいます。首が太い方は、私もそうなので苦しいのはわかるのですが、であればカッコいい理事としているためには身だしなみは重要です。やはり対外の方に会いますから首のサイズの緩いワイシャツをオーダーするなりしてカッコよくいていただきたいと思います。昨日の卒業式でもカッコいい先輩がいたじゃないですか、あこがれる先輩、尊敬している先輩。ぜひ、そんな先輩に皆さんもなってほしいと思います。また先ほど須山理事長から事前配信の話がありました。たぶんこのようなことだと思います、人の議案にも関心を持ってほしいということはあるのですが、人の議案というのは担当が違うだけであって事業は宇都宮JCのものなのです。誰が担当しているかという違いであって市民の方から、事業の対象者からみれば、宇都宮JCがやっている事業なのです。そして理事会構成メンバーというのは事業をよりよくする、そのために理事会をするのです。その事業を

どうやったらもっと効果的に多くの人に伝えられるか、運動を波及させられるか、そのためにみんな忙しい時間を割いてこのように集まっているのです。であるならば、一人ひとりがもっと自覚をもって、運動がもっと効果を発揮できるように2時間3時間の会議に集中してやっていける、そんな準備を事前からしておいていただきたいと思います。結びになりますけれども、この予定者の期間、2014年度の活動と重ねて準備を進めてきていただいたわけですが、1月1日からみなさん正真正銘のこの宇都宮J.C.の理事なのです。社会的責任をおっています、メンバーに対する責任も、もちろんあります。準備は万端ですか、もう時間はありません、1月1日からはどんどんやっていかなければなりません。是非、残り数日ですが気を抜かず素晴らしいスタートが切れるようにご祈念を心から申し上げまして挨拶とさせていただきますと思います。

2013年度理事長挨拶 <福田>

まずは、太城副理事長におかれましては昨日、本当に素晴らしい例会をご設営いただき本当にありがとうございました。わたくしも直前理事長バッジというものを村上理事長にお渡ししました。私がいただいた理事長経験者バッジ、パストプレジデンシャルバッジというのですが、当時本当に一生懸命に支えてくれた副理事長の皆様に使っていただいたものなのですが、今日つけさせていただくのが2回目で、この先つけさせていただく機会もなかなかないのですが、車の中でつけようとしたら落としてしまい降りて探そうとしたら踏みつけてしまったのです。本当に、本当に大切にしていたものなのですが、このことは平井先輩と、金子先輩には内緒にさせていただければと思います。また一昨日は関東地区協議会の最後の役員会でございました。わたくしがやらせていただいていた2013年度には山本和紀を関東地区の会長へということで、当時理事会で何度もお願いをしていたのですが、三つのお願いというものをしていました。まずは宇都宮J.C.のメンバーがそれぞれの事業構築と出向を通して大きく成長してもらうこと。それと、当時ありました関東地区大会を何としても大きく成功させること。そして、山本和紀君を関東地区協議会の会長にすること、この大きな願い三つとも皆様のご協力のもと叶えさせていただいたのですが、それも今年度村上理事長のもとで須山専務、篠崎事務局長、それとその他多くの関東地区への出向者の皆様のご協力のもと、関東地区に宇都宮有りという素晴らしい1年を残してくださいます本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。そして、臨時総会と師走のお忙しい中4日間続けてJ.C.ということで、たぶんいろいろな支障がある中で時間を作っていただいているのだと思いますけれども、それができるのも、私ももう終わりですし現役でいる間、そしてこの理事会構成メンバーでいる間だけでございますので、これも勉強ですから時間を上手に作って調整していただければと思います。先ほどの、村上理事長の時も、須山理事長予定者の時も質問をしながらお話をされていましたが、村上理事長の質問とか今年理事をやっていた方からすると、少し違いますよね。理事長と直前理事長という役職の違いで、みなさんよくわからないかもしれませんが例えていうなら、村上理事長のようなもともとシャープな切れ味の鋭い発言ができる方も理事長というのはそれをひた隠しにして、切りつけるような発言ができないのです。なので、来年は両手に五枚刃の剃刀を持ったような鋭い発言をなさるといいますので、本当に心して理事会に臨んでいただきたいと思います。それは辛いと思うこともあるかもしれませんが、このことは皆さんの財産になることですし、日本J.C.で認められた男の剃刀の切れ味を体験できるということは、その剃刀に切られない、よけられるようになればどこでも通用するように成長できるということですから是非ともこの理事会に心して臨んでいただければと思います。わたくしも今年度の理事会が残っておりますがコンセンサスで行う理事会は今日で最後です。そして2015年度の理事会にお邪魔するのも今日

が最後でございます。思い返すと拡大委員会の時、入会した年ですが、11月頃に理事会にオブザーブとして参加したときに、すごいなと感じました。いつものJCの雰囲気と違いますから。そのあと、3年渉外委員会で設営にまわりましたので、本当に何回この理事会に参加してきたかわからないですが、当時は長机も二重にして設営をしていました。今は、一本ずつで狭いと思いますがここに、多くのメンバーが増えたからなっているだけなのです。事務方は、あまり大変そうではありませんが、机の配置を考えたり、紙資料を配ったり人数が増えると大変なことが多いと思います。そして、本当に優秀なことが当時から理事構成メンバーになっている方は村上理事長だけで、毎年新しいメンバーが理事構成メンバーになっていると思いますが、毎年この理事会構成メンバーになっている先輩方はずっと、毎回白熱する議論を重ねてきました。それが宇都宮JCですし、一度たりともここで適当な議論とか途中で妥協する議論はなかった。その歴史は続けていただきたいと思えますし、いま、ここにいる二人の理事長がおっしゃったように理事会に向かう姿勢は、皆さん本当に全力で向かい合っていたいただきたい。これから一年間12回、臨時も含めるとそれ以上、毎回しっかりと準備をすることは大変なことだとは思いますが、経験を重ねればその見る時間もどんどん短くなると思います。最初は1時間かかっていたとしても、そのうちにぱっと見ればおかしなところがすぐにわかるようになります。それが成長なのです。是非ともここにいるフレッシュなメンバーはこれから宇都宮JCを支えていく、中核になっていく人たちです。今年一年の基礎というものをしっかりと作ってもらいどれだけ自分たちが成長できたかということを確認していただけたらと思います。本当に名残惜しくて仕方がないのが心のうちなのですが、これを皆さんにお渡しするのもJCの宿命です。我々もしっかりと守ってきたつもりですしこれから全国大会という果てしない夢と戦っていかねばならない皆さんであります。本当はその話もしたかったのですが、そこはまたの機会にさせていただきたいと思えます。皆さんの大なる成長そして輝かしい宇都宮を心よりご祈念申し上げましてわたくしのこのコンサーレで行う最後のご挨拶とさせていただきます。皆様方のことを本当に期待しております。

12. 役員報告

<金> 報告案件お持ちの方、挙手にてお願いします。

<木村> 1月15日、春の春渡祭が二荒山4時集合です。人数がいないと神輿を担ぐので厳しいものになります。各委員会各二名ほどの参加をお願いします。

<金> ありがとうございます。その他、役員報告、報告ある方いらっしゃいますでしょうか。

<中島> 2015年度日本JC日本再興会議に議長として出向しております、中島でございます。12月の理事会におきまして、来年度京都会議1月24日13時から14時にてメインホールそれから京都国際会館メインホールなど四か所で日本再興フォーラムというメインフォーラムの審議可決をいただきまして開催することができることになりました。講師に関しましては京都石清水八幡宮田中恆清宮司様、日本の神社本庁の総長ということで、一番トップの方でございます。日本の美しい精神性、助け合う心ですとか美しい精神性についてですとか、日本の建国についてお話をさせていただくような設えとなっております。是非とも皆さんのご参加をよろしく申し上げます。それから、もう一点、わたくしが出向させていただく中で、須山理事長とお約束させて

いただいた職務文書の中のお話でございますが、日本JCに出向するにあたってLOMにしっかりとフィードバックしていかなければならないということで、理事会にも公務のため出席できないことが多いかと思いますが、出席できる時にはこのようにご報告させていただきたいと思います。公益事業が2015年度は非常に多い年だとおもいます。その中で皆様が事業目的で書かれることがあると思います。JCは意識改革の団体で、意識を変革することを目的に掲げることがあると思いますが、その意識というものにはいろいろな種類があることはご存知でしょうか。たとえば当事者意識、それから主権者意識、国民意識、これは我々でいえば市民意識といえるでしょう。この三つの違いがお分かりになりますでしょうか。実は、私も出向するまでは細かい違いまでは分かりませんでした。これは国家グループとして出向させていただいた中で勉強させていただいたことであります。このことをフィードバックすることは非常に大切なことだと思います。当事者意識と市民意識この違いは非常に難しいと思います。何気なく使っている言葉ですが実は明確な違いがあります。この答えに関しては皆様に宿題ということで、次回また報告の機会をいただいたときにお答えしたいと思います。事業構築をする際にも、何が目的となるのか、意識の違いということを含めてお考えいただければと思います。以上でご報告を終わりにしたいと思います。

13. 協議事項

協-01 2015年度 1月新春例会開催計画並びに予算（案）について

渋江委員長より前回からの変更点に関して資料の読み上げ

- <金> ありがとうございます。2014年度の予定者会議において最後の協議となります。何か質問のある方は挙手にてお願いします。
- <木村> 臨時総会にて全国大会について決まりましたが、新春例会にて来賓の方やシニアの方に対して理事は各テーブルにて個別対応とありますが、山田委員長と連携をとり事前に資料があるとあり難いです。
- <金> 渋江委員長よろしいでしょうか。その他いかがでしょうか。
- <八木> 年度表記についてパンフレットにおきまして直っていない点がありましたので修正をお願いします。
- <渋江> 八木副委員長ありがとうございます。ご指摘のとおり修正させていただきます。
- <村上> 木村委員長の意見に対してですが、渋江委員長よりそのようにしますとありましたが、具体的にどのような対応をされますか。もう一点パンフレットの写真ですが木村委員長この写真でよろしいですか。
- <渋江> 交流の中に各委員長に来賓の方に対応していただくときに交流のしおりがありますので、その中に全国大会に関しての内容を載せるということで山田委員長とコンセンサスを取りながらやっていきたいと思っています。
- <金> 1月6日の事前の打ち合わせの時にも、各理事の方に説明できるということでよろしいですか。

- < 渋谷 > はい
- < 村上 > 新春交流会において想定される質問に関しては、最低でもここにいる理事構成メンバーに関しては、一語一句同じことをお答えできなければ説得力がなくなるので、渋谷委員長というより山田委員長に想定される質問に関しての資料を今年度の理事会である 26 日までに作っていただければと思います
- < 金 > 写真の件はいかがですか。
- < 木村 > 写真は取り直したいと思います。
- < 金 > 2014 年度の理事会までに差し替えは可能ですか。
- < 木村 > はい。
- < 須山 > 2014 年度予定者の段階にてでは最後の協議となりますので渋谷委員長の意気込みを聞いて終わりにしましょう。
- < 渋谷 > 2015 年度の新春例会ですが、2015 年度の須山理事長の運動方針、そして事業内容を来賓の方々、そして我々の基礎を作っていただいたシニアの皆様にご正確にお伝えするというのが対外的目的でございます。そして我々現役としてその考えを各委員長、副委員長の皆様にご説明いただくことで、これから 2015 年度活動していくわけですが、各諸団体の皆様と連携をとりながら市民協働のまちづくりを推進していく、それで、わたしたちの考え方、熱い想いをぶつけながら 2015 年度の運動にまい進していければと思いますので、ここにいらっしゃる理事会構成メンバーの皆様のご協力をいただきながら新春例会を成功させられればと思いますのでよろしくお願ひします。

協-02 新春交流会 PR 映像制作計画並びに予算（案）について

篠原委員長より前回からの変更点に関して資料の読み上げ

- < 金 > ご質問のある方いらっしゃいますか。
- < 木村 > 10 月のだて J C との交流の映像は入りませんか。
- < 篠原 > 宇都宮というものを強く押し出すということから委員会で話し合った結果、まちづくりサミットを載せさせていただくことになりました。
- < 木村 > 2014 年度の合同常任理事会において今後とも交流していくとの方針が出ているので、少しでも文面で触れることで今後の交流につながるのではないかと。
- < 飯沼 > 新春交流会での PR 映像となりますので、2015 年度須山理事長の運動方針を伝えるということで、まちづくりサミットの映像を選ばせていただいております。
- < 木村 > 須山理事長の所信の中にも他の L O M との交流ということがあるので載せるべきだと思います。
- < 金 > だて J C との交流はもちろん行っていきますので、新春交流会での PR 映像の目的を考えますと、2015 年度須山理事長の運動方針を伝えるということでご理解いただければと思います。
- < 木村 > 2015 年は交流に関しては軽視するということですか。
- < 金 > 軽視するというのではなく数多くの映像の中では今回の PR 映像の目的からは少しずれてしまうのではということでもまちづくりサミットを使って

- いるということですが。
- <木村> あまり納得はしていません。
- <金> ご意見として伺っておきます。他にご意見のある方。
- <山田> 絵コンテの33番全国大会主幹立候補に向けては、全国大会主幹に向けての方がわかりやすいのでは。
- <篠原> 変更します。
- <金> 他にある方。
- <村上> スライド26番に効果的運動の波及とありますが、効果的運動とはなんですか。
- <篠原> 私どもでは新春例会に来ていただいた方々にまちづくりサミットや法令会計セミナーなど新しい取り組みもお伝えできるようにと考えております。
- <村上> 理事長所信には効果的な運動という言葉はありますが、効果的運動という言葉はありません。てにをはの話ですが一文字抜けるだけでまったく意味が変わります。はじめて読む方に伝えるものなので、一語一句しっかりと使ってください。内容の理解をしていただいていることはすごくわかりました。
- <篠原> 対応します。
- <金> その他ございますか。
- <木村> 全国大会を主幹するにあたり他県のLOMとの交流は絶対に必要になると思いますので、やはり映像を載せていただければと思います。
- <篠原> 委員会にてどこに入れるかを精査して対応したいと思います。
- <木村> ありがとうございます。
- <金> 他にございますか。本日業者様の計らいでデモ映像を用意しておりますので皆さんにご覧いただきたいと思います。

PR映像デモ上映

- <金> 須山理事長お願いします。
- <須山> 篠原委員長お疲れさまです。先ほどの木村委員長の話などもありましたし、これからも意見等があがってくることもあるかと思いますが、相手もある事柄ですので丁寧な対応をお願いします。是非ともいいムービーを作って新春例会に花を添えていただければと思います。気になった点としては、木村委員長の発言の内容はいいのですが、ロバート議事法としては意見を出してそれに対してこのような対応、意見です、と返されたものに、でも、といってさらに返すのは駄目なのです。どこかのタイミングで皆で会議の進め方というものを勉強しなくてはと思いますし、そういったところも成長につなげていければと思います。

協-03 第112回通常総会 開催計画並びに予算(案)について

辻委員長より前回からの変更点に関して資料の読み上げ

- <金> 全般的にご意見ご質問等ある方は右手挙手にてよろしく申し上げます。宮林委員長いかがでしょう。
- <宮林> 本年度の期待される工夫と効果の総務委員会の総会に対する理解を深いも

のとして統一した認識をもって委員会回りを行うとありますが、現段階で委員長が考えている認識を教えてください。

- <辻> 総会というのは宇都宮JCの最高意思決定機関でありメンバーが審議事項に対して右手をもって意思表示をする機会であり、これにより、宇都宮JCの今後の活動の方向性が決定されるものと認識しています。
- <宮林> 今っていただいたお考えが、各委員会回りで行われることが大事だと思いますのでよろしくをお願いします。
- <金> その他いかがでしょうか。
- <須山> しっかりと準備を進めてください。

協-04 2月市長例会開催計画並びに予算（案）について

菊地副委員長より資料の読み上げ

- <金> 事業要綱について何かご質問のある方
- <金> 事業全般についてご質問のある方
- <小瀧> 上島先輩の表記を精査してください。事業の全体概要に対して上島先輩と市長のパネルディスカッションが思い出話にならないように考えてください。
- <菊地> 表記は精査します。ディスカッションの内容に関しては2部制にしているので大丈夫です。
- <金> その他ご意見のある方
- <木村> ビジターの席の場所について前列でも左右どちらかに分けた方がいいのではないかと。また、行政と連携を図るために上島先輩と市長のパネルディスカッション以外に何か設えがないかと思えます。また、3分間スピーチの講評を上島先輩にさせていただいても良いのではないですか。
- <菊地> レイアウトのビジターの席に関しては委員会にて再考します。パネルディスカッションに関しても内容を含め精査します。3分間スピーチの講評に関しても委員会にて検討します。
- <金> その他ご意見のある方
- <村上> なぜ2000年の会頭、上島先輩なのですか。
- <菊地> 上島先輩が会頭の時、佐藤市長が副会頭であったためです。
- <村上> 上島先輩のことをもっと調べて、それを議案に反映させてより良い事業にしてください。
- <金> その他いかがでしょうか。
- <金田> パネルディスカッションの中の〇×クイズの目的について教えてください。
- <菊地> 例年と違った設えにしようと思いました。
- <金田> 余興的になるとよくないので、内容は精査してください。
- <金> ご意見としていただいております。その他いかがですか。
- <齋藤> 動員方法にある委員会回りをする時の内容は何ですか。
- <菊地> 例会の内容がよく伝わるような内容を検討中です。
- <金> その他いかがですか。
- <小瀧> 上島歴代会頭へのお礼状の内容を精査してください。
- <菊地> 精査します。
- <金> その他いかがですか。

- <柿沼> 講師プロフィールに関して読みやすいように精査してください。
- <菊地> 委員会にて精査します。
- <金> その他いかがですか。
- <鈴木> 質疑応答の中にあつた、楽しい、新たな設えとありましたが、本来の目的からずれないように注意してください。
- <菊地> はいわかりました。
- <金> その他いかがですか。
- <相田> タイムスケジュールにある写真撮影の内容を説明してください。
- <菊地> 内容が未定ですので、委員会で検討します。
- <金> その他いかがですか。
- <飯塚> アンケートの内容を精査してください。
- <菊地> 精査します。
- <金> その他いかがですか。
- <篠原> 事業実施に至る背景の中に全国大会実施に関してのことがなかったのに、期待される効果の中にどのような流れで出てきたのでしょうか。
- <菊地> まちづくりにおけるJ Cの役割と全国大会との関係性ということです。
- <山田> 例会の趣旨は市長の考えをお聞きして行政の方向性やビジョンを理解することです。したがって、そのまちづくりの手法のひとつとして全国大会があるという認識で期待される工夫と効果のところに入れさせていただきました。
- <篠原> 明るい豊かなまちづくりと全国大会がどのように結びつくのか教えてください。
- <山田> 全国大会の四益といわれるものの中に開催地域に対する経済効果というものがありますので、まちづくりとかけ離れていないと思っています。
- <金> その他ありますでしょうか。
- <須山> たくさんのご意見をいただきましたので次回までに委員会の方でよく話し合つて良いものにしていただけたらと思います。菊地副委員長の答弁も次回成長していることを期待します。気になった点がありまして、ビジター10名とありますがこれはどのように集めますか。
- <菊地> 10名は来るようにしたいということで、手法はまだ考えていません。
- <須山> ここがポイントだと思います。新春例会の時に申し上げられなかったので申しわけありませんが、会員拡大というのは自分たちの例会でなくてもビジターを集めるという努力をしっかりとさせていただきたいと思います。ビジターとか入会候補者というのは空から降ってくるわけではないので一人ひとりの地上戦だと思います。それを、拡大委員会に何人来ますかと尋ねるだけではいけませんので、是非とも2月例会として10人集めるつもりで努力をしていただきたいと思います。是非とも他の委員会の方も自分たちの例会でビジターがいらっしやらないということがないように努力をしてください。金田局次長からもありましたけれど、〇×クイズはあまりにもクリスマス会のクイズ大会になってしまうので、固くなりすぎない程度に内容を精査していただければと思います。

協-5 3月研修例会 開催計画並びに予算(案)について

増淵委員長より資料の読み上げ

- <金> 議案上フォーマットが揃っていないので精査してください。予算の表記に関しても法令会計とよく相談して正しい表記にしてください。事業要綱に関してご意見やご質問もある方いらっしゃいますか。
- <木村> 背景目的に関してやや無理があるので精査してください。
- <増淵> 委員会にて精査します。
- <金> 他にご意見質問のある方
- <宮林> 目的の家族や仕事に感謝の気持ちを持つと地域に対して当事者意識が芽生えるという部分に因果関係がないように思われます。
- <増淵> 委員会にて精査します。
- <金> 他にある方いらっしゃいますか。
- <村上> 背景目的は須山理事長の所信のどこから引用しているのか。また、背景と目的に因果関係がありませんがどのように考えていますか。
- <増淵> 背景に関しては将来に対して希望を持ちというところを引用いたしました。
- <金> 補足ありますか。
- <羽石> 背景に関してですが所信の人材の創出というところから引用いたしました。背景の中の生産年齢にある世代の人の7割が将来に対して不安を感じているというデータは資料に添付させていただきました。明るい豊かなまちづくりをめざす我々は市民のニーズを的確に把握し多くの市民が行動に移せる契機となるような事業を行わなければならないというところでは不安を感じている方々がこの事業を通じて地域のまちづくりや市民の当事者意識を持っていただく契機となればと思っています。目的にあります家族や会社に対しての感謝というのは地域に対して意識もっていただくということにつながると思います。
- <村上> 羽石常任の主観からの背景目的ではなく客観的な説明が必要です。担当副理事長からも説明をお願いします。
- <福田(之)> 背景に関しましては所信の中の市民一人ひとりが将来に向けて希望を持ち魅力あるまちに発展させるためには市民のニーズを的確に把握し、市民が行動に移せる契機となるような事業を行うということです。目的に関しては精査してもらいます。
- <金> 常任理事会から内容がかなり変わっておりますので、担当ラインで確認していただいで対応してください。
- <福田(治)> 上程台がなくなるようになったのはわかりますが、せめて上程者は紙資料をもって顔を上げて上程できるように常任理人の方からご指導ください。入会年度の浅い理事が多いので初歩的なことから教えていかないと非常に低いレベルの理事会になってしまいます。それを指導していくのは常任理事の皆さんの務めだと思いますので、よろしくをお願いします。委員会に持ち帰って再考するにあたって指摘されたところはもちろん、他の部分まで向き合っていくってください。講師に関してスポーツ選手はあまり話せないからアナウンサーを入れる、入れるのであればどのようなシナリオで質問するから目的を達成できるというようなところまで落とし込まないといけません。この状態であれば担当常任、副理事長まで委員会に乗り込んで作っていても良いかと思えます。ぜひ頑張ってください。
- <金> 他にある方いらっしゃいますか。
- <山田> 講師依頼承諾書は理事会のコンセンサスを一度もとらないままに必要とな

るのは難しいのではないですか。

<豊崎> 当初は告知議案が1月審議となっております。審議であれば講師依頼承諾書が必要になります。

<金> 告知議案は取り下げとなっておりますがいかがですか。

<山田> 告知議案で審議をとる場合には本体議案が協議に入らなくても講師依頼承諾書が必要ということですか。

<豊崎> 1月に審議ということであれば審査局としては今月中にいただきたいと思えます。

<金> 今回に関しては告知議案自体取り下げですが、どのくらい先方とは交渉が進んでいますか。

<増渕> 土屋ホームとの口頭でのやり取りのみです。

<鈴木> 1月に協議をして2月に審議ということでポスターを作って1か月で1000人ということでしょうか。

<増渕> そうなります。

<鈴木> これだけの予算をかけて1000人という目標を立てているのであれば1月に部分審議は取れないですか。

<金> 現状の会の運営方法ではありえません。

<豊崎> 告知議案がなくなった経緯をお聞きしたいのですが。

<羽石> 告知議案で考えていた内容は開催趣意書、後援依頼、後援依頼承諾書でした。15年度の方針で部分審議が取れるという案が出ていましたので1月に審議をとろうとしていました。

<篠崎> すべてこの会議というのあらかじめ定められたルールに則って行われているので、自分たちの都合でルールを変えていくのではなく、決められたルールに従っていくしかないのではないかと。残された30日でいかに目標を達成できるかということに手法を変えなければならないと思います。法令会計審査の立場としてもこれではダメというだけでなく、このようにすれば大丈夫というようなアドバイスもしていただけたらと思います。

<金> 現状のルールではこうなってしまったからルールを変えてくれといわけにはいかないです。先にルールを変えなければならないということです。

<中嶋> 告知というのは講師依頼承諾書やプレスリリースのための議案ではなく、この議案でいえば1000人集めるための議案です。告知議案と本体議案の分け方の意義を理解していただかなければいけません。

<金> 他にありますか。

<木村> この先告知議案を作るのか、部分審議をとれるのか説明してください。

<金> 現状、部分審議という手法はありませんが、この先協議をした結果変わることはありえると思います。

<須山> 告知議案と部分審議に関しては早急にルールとして定めます。2点だけ委員会にお伝えしたいと思います。背景目的が定まっていないのでなんともいえませんが、委員会が伝えたい内容が定まっていないのだと思います。たとえばこれは葛西氏ありきの議案になってしまっているのです。他の誰かが話しても同じ内容を委員会が伝えたいのであればこの議案はとおります。伝えたい内容をしっかりと決めてからそれをどのように葛西さんに話してもらうかという手順で追っていけば良いのだと思います。2点目は動員計画です。1000名という宇都宮JCとしては前人未到の動員計画を立てているわけですが、内容はあまりにもなさすぎるというところ

であります。これは委員会内でしっかりと検討して、どのようにすれば1000人動員できるか、そこに力を注いでいただければと思います。しっかりと委員会内で協議していただければと思います。

14. 報告依頼事項

報-1、2015年度 予定者スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報-2、2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読いただくとともに、事務局長説明をお願いします。

<飯沼> 京都會議についてわかり次第渉外委員会よりご報告いたします。

<金> 1月からのスケジュールについても事務局から理事メーリングにて流れているかと思しますのでご確認ください。

報-3、2015年度 対外出向者(案)について

<金> ご一読ください。

報-4、2015年度 拡大ポスター(案)について

<金> ご確認のほどをお願いします。

報-5、栃木ブロック協議会 2015年度 組織図(案)について

報-6、関東地区協議会 2015年度 組織図(案)について

<金> ご一読ください。

報-7、 その他

<山田> この後、全国大会招致會議を開催いたします。アジェンダを確認できない方は総務委員会までをお願いします。

15. 監事講評

<篠崎>

まずは総務、渉外委員会の皆様本日の設営本当にお疲れ様でございます。今日この会場に入って最初に思ったことが、会場が狭いなと感じました。オブザーブされる方がいらっしやったときにもう少し余裕があるとゆっくりと勉強していただければいいのではないかと思います。そしてまた本日は第47代理事長福田治久先輩に予定者最後の理事会にご出席いただき花を添えていただいたことに御礼を申し上げます。本日の議案でございます。前回の常任理事会にも、もちろん参加させていただいているのですが、どのように変わってくるのか楽しみにしておりました。途中までいい方向であったものがずれてしまったのかなと思います。先ほどはきついことも申し上げましたが、成長の段階だと思います。福田先輩もおっしゃっていただきましたが、何か独り言をいっているような上程でしたのでまずいなと思います。読み上げるだけですと読んでいるだけです。伝えるということが重要となるわけです。自信をもって伝えれば伝わります。そうすればみんなの中にもきちんと入ってきて伝わるのです。議案に対しても忙しいと思いますが上程の方法に関しても学んでいただきたいと思います。よく年末にかけて忙しいという言葉が聞きますが、忙しいという言葉はネガティブな言葉です。漢字でいうと心をなくすと書きます。これをポジティブに置き換えたときを考えると充実しているとなります。充実しているのだ、勉強しているのだ、三つも四つも同時にやって頑張っているのだと考えて、挑戦していただければと思います。今回の予定者會議がこれで終了するわけですが、ここから9日間の過ごし方、そして年明けの會議までの過ごし方があると思います。一回リセットした方が良いのかなと思いました。この充実した生活の中で一時離れられるときでもあります。来年以降宇都

宮のために、また須山理事長のために動く決めていたのであればいろいろな準備が必要になると思います。議案のことは頭の片隅には置いてほしいですが、仕事とか、家庭に時間を割く余裕もほしいかなと思います。世の中のひとはこれから休みに入るに向けて遊びの準備をしています。そのような人たちに負けないような充実した年末年始を迎えて年明けには元気な姿で須山理事長の掲げる真摯に挑戦ということで宇都宮 J C 一丸となって盛り上げていただきたいと思います。

<金> 篠崎監事ありがとうございます。

16. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第4回 理事予定者会議議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 之
篠 崎 達 彦
安 野 嘉 政